

外国人が安心して暮らせる静岡 ～介護現場で長く働くために～

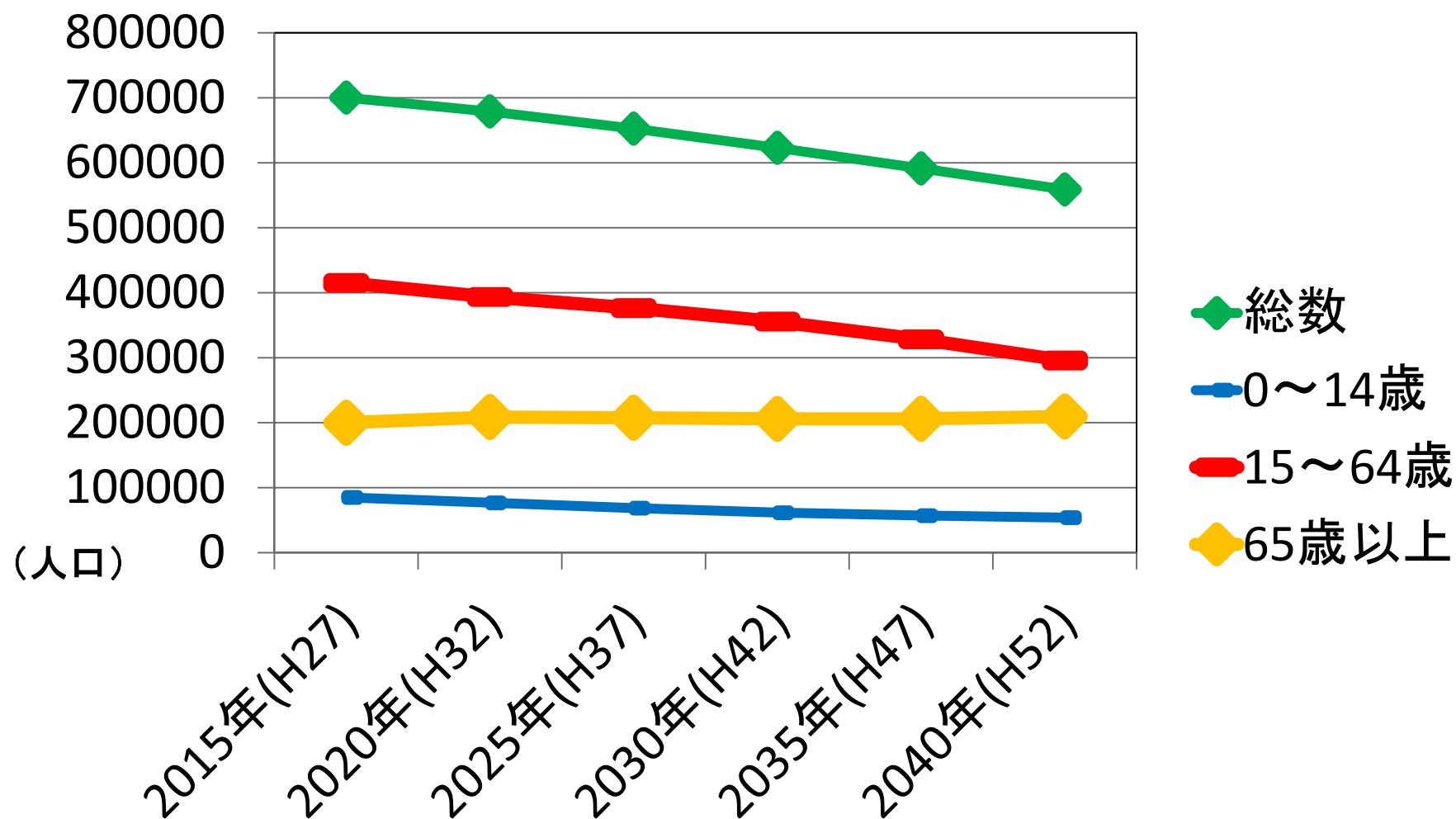
ダイバーシティしずおか 大津京

外国人住民は
非正規雇用や夜間に仕事が多い！
(労働者の約6～7割)

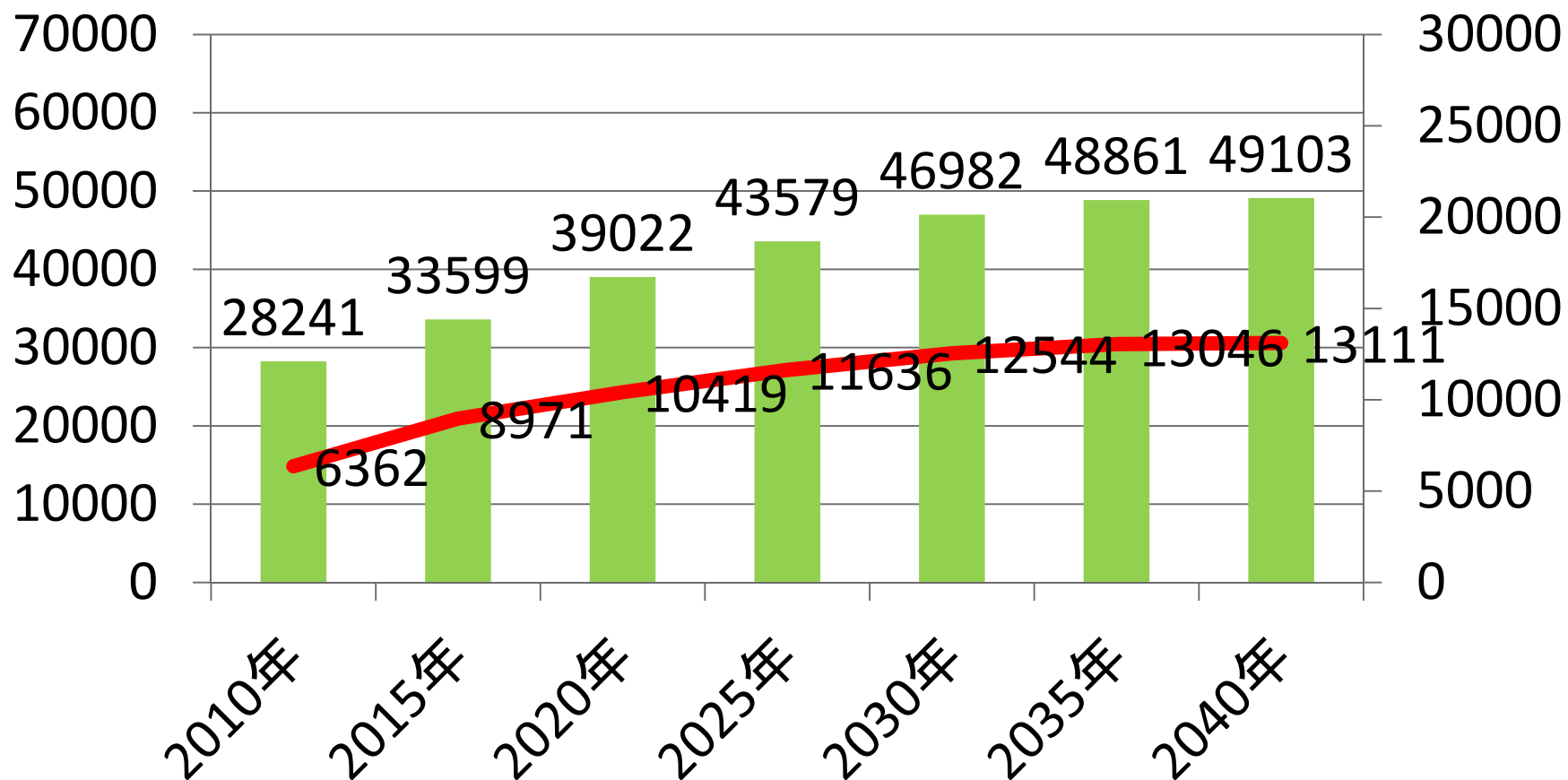


仕事・生活が不安定

静岡市の生産人口(働き手)は減るが、 高齢者は微増



静岡市に必要な介護人材数



■ 要介護・要支援認定者数(推計)
— 必要な介護人材数(推計)

※2010年の要介護・要支援認定者は実数

外国人住民は 重要な市民！（働き手）

静岡市の生産人口（15～64歳）比率の推計

平成22年 → 平成32年 → 平成42年
62.1% → 58.0% → 57.1%

在静外国人の生産人口

平成17年 → 平成20年
85.9% → 82.7%

⇒在静外国人は重要な働き手！

静岡県では 外国人ケアワーカーが増加

	H21年	H22年	H23年	H24年
施設数	45施設	80施設	112施設	122施設
雇用人数	82人	131人	178人	182人

(静岡県健康福祉部福祉長寿局の調査)
※H24年の回答数は971施設(回答率13%)

だけど離職率の高い介護職

介護職員＋ホームヘルパーの 入職率・離職率（平成19年）

入職率 27.4%（全労働者：16.0%）
離職率 21.6%（全労働者：16.2%）

※ 資料：介護職員＋ホームヘルパー：
事業所における介護労働実態調査（平成20年7月）
（介護労働安定センター）、
全労働者：「雇用動向調査（平成18年）」

外国人ケアワーカーと 共に働くことの課題ベスト5

順位	課題	具体的には
①	言葉の壁	日本語習得レベルによって違う。「意思疎通」「専門用語」「介護福祉士の資格取得」「方言」
②	読み書きの問題	報告書が書けない
③	高齢者に対する文化・習慣の理解	「食事」「生活リズム」「身の回りの世話」
④	スタッフ間のコミュニケーション	「報・連・相」の徹底、わからないことは聞く、何でも言い合える雰囲気づくり
⑤	教育体制	より外国人を理解している先輩・上司の必要性、必要時にはプライベートへのサポートも必要

今後の計画 ～外国人が長く働くために

- 2013年
継続的に働くための工夫・コツをまとめる・広める
報告書の作成、3か月に1回の勉強会、シンポジウム開催
↓
- 2014年前半 事業者と外国人の出会い
外国人による施設見学、ボランティア体験会
↓
- 5施設で外国人ケアワーカーの新規採用
↓
- 2014年後半 継続的雇用のための支援
3施設で1ヶ月に1度の施設・外国人向けカウンセリング

2015年までに静岡市の外国人ケアワーカーの離職率を約10%にする